

平成22年度第4回 鳥取市総合企画委員会・会議概要録

1. 日 時 平成22年10月12日(火) 13時30分～15時30分
2. 場 所 鳥取市役所本庁舎6階 全員協議会室
3. 出席委員 壺岐 文彦、尾崎 直美、下石 義忠、近藤 儀徳、佐々木 紀久子、
徳田 昌子、徳中 由美子、西村 賀代、西村 陽子、福島 明、福山 裕正、
藤沼 康実、細井 和江、水野 由久、道上 正規(委員長)、森原 昌人、
(16名)(敬称略 50音順)
4. 欠席委員 池原範雄、藤縄匡伸、森本幸子、吉弘憲介(4名)(敬称略 50音順)
5. 市：市長、副市長ほか各部長(監)、行財政改革課(事務局)

6. 会議概要

(1) 開会(田中行財政改革課長)

(2) 市長あいさつ

<要旨>

- 皆様から、「鳥取らしい、独自性のある計画に」、「地域を動かす計画に」などのご意見をいただき、第9次総合計画が肉付けされてきた。感謝申し上げます。
- 昨今、山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟やガイナレ鳥取J2昇格確実など、本市の今後の持続的な発展につながる明るい展望が開けている。
- その一方で中山間地域対策や雇用、経済の活性化が求められている。これらは、第9次総合計画の重点的な取組みである「人を大切にするまち」リーディングプロジェクトなど、計画を進める中で実現をしていきたい。
- また、庁舎の耐震化問題で、有識者会議、市議会特別委員会の最終報告で、新築統合の方向性が出た。今後、慎重に検討したうえで、第9次総合計画に盛り込んでいきたい。この取組みは、地域経済の活性化につながる、行政の整備にとどまらない、大きな成果があると期待している。
- 「リーディングプロジェクト」は大きな目玉である。市は将来に向けた基盤ができつつあるが、全国的には、産業、観光、市民生活は遅れをとっている。困難を乗り越え、この計画を基に、今後、5年間発展の道を図っていきたい。
- 総合計画の策定は後半に入るとともに、最終段階を迎えつつある。この計画に、市民の力、英知を盛り込むため、改めて皆様のご高配をお願いしたい。
- 積極的なご意見をいただく中で、明日の鳥取を切り開いていこうとする意欲あふれる計画となるようよろしくお願いします。

(3) 委員長あいさつ

<要旨>

- 第4回の総合企画委員会に参加いただき、お礼申し上げます。
- 市長からもあったように、山陰海岸ジオパークやガイナレ鳥取などのうれしい知らせがあった。今まで、観光は西部が優勢だったが、東部もジオパークが認定され有望になる。西部と東部が切磋琢磨し、いい観光振興が出来上がればいい。
- これからの10年、5年先に開花するいろんな意見を出していただきたい。高齢社会をどう生きていくか、豊かな暮らしにしていけるか、何が不足しているか。
- 公共交通機関を充実させ、市民の足を確保していくべき。若者や高齢者が公共交通機

関でまちなかに来られるような仕組みができれば、いいまちとなる。

○パブリックコメントにかかる計画（案）として皆様からのご意見をいただきたい。

（４）協議事項（進行：委員長）

①第９次鳥取市総合計画基本構想・基本計画（案）について（資料１）（国森参事）

○基本構想の変更内容

- ・P3に人口の見通し、P4に長期財政の見通しを掲載。

これまでの傾向や今後の施策展開を踏まえて推計した。

人口は、平成17年度以降の減少傾向を踏まえて、平成22年以降を推計した。

推計には、「鳥取市雇用創造戦略方針」による平成22から25年までに2000人以上の雇用創造、「鳥取市若者定住戦略方針」による若者定住対策などの取組みの成果を考慮し、全体的にこれまでより緩やかな人口減少になると予測した。

長期財政計画は、平成25と26年は大型事業が予定され、27年度以降は減少すると見通している。市民生活に支障のないよう財政計画を作っていく。

○基本計画の変更内容

- ・P25 「公共交通の確保」を取組項目に追加。
- ・P26 「中心市街地のにぎわいの形成」を取組項目に追加。
- ・P27 「グリーンツーリズムの推進」を取組項目に追加。
- ・P28 「販路拡大の推進」を取組項目に追加し、「広域的・国際的な観光連携と経済交流の推進」を取組項目に追加し、主な内容に「山陰海岸ジオパークの保全と活用」、「海外からの観光客に目を向けた取組みの推進」を追加。
- ・P29 「魅力ある地域づくり・人づくりの推進」、「交流による活性化と移住・定住の推進」を取組項目に追加。
- ・P30 <基本方針の見方>に（４）管理指標を追加し、各計画に管理指標を掲載。
- ・P38 <施策展開の見方>に（４）成果目標を追加し、見やすい位置に変更し、各計画に成果目標を掲載。
- ・P83 「農林水産業の振興」の（３）施策の主な内容の充実。
- ・P87～88 「商工業の振興」を「工業の振興」「商業、サービス業の振興」に分け、内容を充実。
- ・P93・94 観光産業の内容を充実し、施策の主な内容「魅力ある観光地づくり」を整理。
- ・P95～96 「観光産業の確立」、「広域・国際観光の推進」の内容を充実し、追加。
- ・全体 基本計画「施策主な内容」の「星番号」はリーディングプロジェクトの番号を表す。
- ・その他（第9次総合計画基本計画「施策の展開」の指標）
黒い網掛けは、事前配布した基本計画から変更、追加したもの。

【質疑応答】

○道上委員長

「人口推計・財政の見通し」など前回からの変更内容等を中心に説明いただいた。意見・質問があればお願いしたい。

○森原委員

ガイナレ鳥取の意味合いは大きい。山陰海岸ジオパークの位置づけが弱い気がする。砂丘を含めたジオパークを計画の中で前面に打ち出したほうがいい。

リーディングプロジェクトの柱の建て方として、P23 「健康で安心な暮らしづくりプロジェクト」で「健康・医療・福祉」と「災害」は別のものだと思う。災害に強い鳥取は大きな目玉だと思う。分けた方がいい。P24 快適な「とっとりライフ」プロジェクトは必要なことだが、他にも重要なことがある中で1本たてるのはどうか。

P66 地区防災マップは地震なのか水害なのか。これからは水害への対応が大きなポイントになる。はっきり地震と水害を表記しないと市民は分かりにくい。

P25 「ワークライフアンドバランス」、P29 「ソーシャルコミュニティビジネス」など横文字で意味が分からない人もある。脚注があるが、できるだけ日本語で表記すべき。

○田中次長：ガイナレの件は、P60に取り上げている。

○国森参事

「健康で安心な暮らしづくりプロジェクト」で「健康・医療・福祉」と「災害を分けることについては、もう少し、委員の皆さんで議論していただけたら。

○防災調整監

地区防災マップとは、災害の種類や規模によりどういう経路順路で避難するかを描いたもの。地震に限らず水害も入っている。いろんな災害に対応できるものとしている。

○道上委員長

P66④「災害に強いまちづくりの推進」が取組み項目となっている。これだけでは、不十分であれば修正していただく。

○徳中委員

P40 「幼保一体化」の表記がなくなっているのはなぜか。

P44 「文化」に食の文化について記載がいるのでは。

P48 「コミュニティ活動を支援していく。」という強い思いの部分がなくなっているのはなぜか。

P54 「仕事と生活の調和の推進」については、仕事がないよりはと我慢、学校行事や子どもの病気などで休むと仕事がなくなるとの不安から子どもに我慢させて働くというような、仕事と生活のバランスがとりにくいのが現状だと思う。働きやすい環境づくりを企業に働きかけるなど「企業等と連携」を強調していただきたい。

成果目標は、一人一人、行政、地域、職場ができることをはっきりと表すことが市民にとってわかりやすいのではないか。

○健康・子育て推進局長

P40 幼保一体化は制度として反対等もあり具体化していない。今後、違う方向性ができるかもしれないなど現段階では、「幼稚園の認定こども園設置促進」といった表記になる。

○経済観光部長

食の文化について、P85 「地産池消と食の推進」に位置づけがあるが、委員の意見を踏まえて検討する。

P92 「仕事と生活の調和」について、企業への働きかけをしっかりと進めたい。本市は、平成22年1月に「ワーク・ライフ・バランスの推進都市宣言」をした。企業・地域・働く皆さんで「仕事と生活の調和」した暮らしをつくりたいと考えている。

○企画推進部長

P48 「コミュニティ活動を支援していく。」の記載削除については、項目整理によるものであるが、委員からのご指摘を踏まえ、復活させる。

○道上委員長：横文字の件は注釈をつけて説明している。

○西村（陽）委員：注釈を探すのが大変。転々ばらばらにある。

○国森参事：あいうえお順に最後のページに注釈をまとめて掲載することで対応したい。

○藤沼委員

基本構想の第1章～第4章名は行政言葉だが、第5章だけが「人を大切にするまちをめざして」と変わった書き方となっている。統一してはどうか。

P15の表（体系図）に簡単な説明を入れたらどうか。

P23 リーディングプロジェクトの4「とっとりライフ」とはどんなものなのかイメージできない。補足説明が必要。

○国森参事：P15の体系図は、P14からの内容が説明になっている。

○道上委員長：事務局に調整をお願いする。「とっとりライフ」についてはどうか。

○田中次長

「とっとりライフ」とは何かがわかりやすい説明を加えようと思う。第5章が行政用語ではないことについては、委員の意見を踏まえ、章名を「まちづくりの方向」、「まちづくりの方針」などになるのかなど。

○西村（陽）委員：行政用語にあわせることがいいのか、一般的な言葉にするのか。第5章名が一番わかりやすい。

○福島委員

いわゆるどういうまちを目指しているのかということなので「まちづくりの目標と理念」とするのが堅苦しくなくていいのではないか。

○道上委員長：参考にしながら検討してください。

○水野委員

P94「ビジットととりの展開」に鳥取空港活性化として、鳥取空港の名称を「鳥取砂丘空港」の取組みを加えられないか。

P40「子どもにやさしい空間づくり」の小学校校庭の芝生化について保育園庭のように数値目標を検討してほしい。

○都市整備部長

空港の名称は、「鳥取空港利用促進懇談会」でも「鳥取砂丘空港」にしてはとの意見があり、現在、議論が進められている。

○教育長

現在小・中学校の芝生化は、学校・地域・PTAの維持管理の組織ができる所からすることが大前提。何年までに何%という目標は立てにくい。支援はしている。

○道上委員長

空港の名称は賛成反対があるわけだから、計画に記載するのは良くない。議論後に、意見があがってくるようならまた検討する。

○西村（陽）委員

成果目標の（指標の説明）をもう少し丁寧にすると分かりやすい。例えば、P96 「海

外からの観光客増加に向けた取組みの推進」が施策としてあるが、観光入込客数では、海外からの観光客数が分からない。

○経済観光部長

観光関係の入込客数で海外からの数の把握の仕方が確立されていない。今後は、成果が把握できる調査をしっかりとやっていく。

○道上委員長

指標説明を詳細に分かりやすい表現にしてほしいということ。ただ、観光客数などの詳細な数値は把握されていないと思う。データのとり方の基準などが提示されれば、調査研究も盛んになると思う。

○壱岐委員

P48 協働のまちづくりの推進に「地域マネジメントの研究を支援します。」とあるが、研究支援だけでは物足りない。研究及び「育成」とか「立上げ」とか、事業の立上げまでも支援しては。

○企画推進部長：事業化までの支援を検討する。

○道上委員長

リーディングプロジェクトの柱について、「健康・医療・福祉」と「安全・安心」を分け、プロジェクトを7本にすることについて、皆さんの意見はどうか。

○森原委員

やはり、「健康・医療・福祉」と「災害」はそれぞれ重要な大きなテーマなので分けてもらいたい。また、4の「とっとりライフプロジェクト」の名称はいいが、特徴的なものがなく、中身が不十分だと思う。

○道上委員長：どうですか。しかし、あまり項目を増やすのも好ましくないだろう。

○西村（賀）委員：プロジェクトの項目を増やす必要はないのではないかな。

○福島委員

災害が起きた時、医療は必ず関係がある。別々にすると問題があるのではないかな。

○道上委員長：委員の意見、考えを踏まえて、事務局に多少修正をしてもらおう。

○国森参事：今回ご指摘いただいた点について、必要なものは修正をかけ、委員長に内容を確認したうえで、市民政策コメントを行います。

（5）その他 まちづくりフォーラム2010の開催について

○国森参事

10月15日の13時30分より鳥取市民会館で「まちづくりフォーラム2010」を開催いたしますので、ご参加をよろしく申し上げます。

（6）閉会（田中次長）